

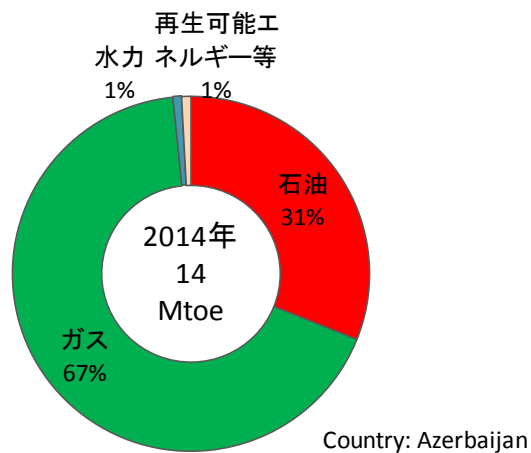
2-15 アゼルバイジャン

1. サマリー

1. エネルギー事情

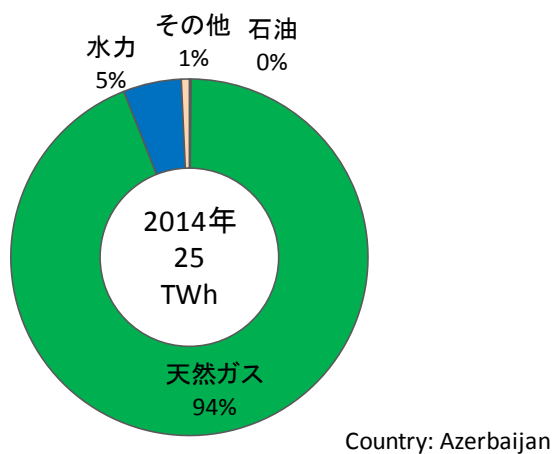
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 14 百万 toe (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 1.50 toe (日本の 0.41 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 410%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 30.8 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 2.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 3.23 CO₂ 換算 ton (日本の 34.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 22.8 年、天然ガス 63.2 年

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 産業政策の実権は SOCAR（国営石油会社）と Azerenerji（国営電力会社）等の国営会社が有する。SOCAR は従来国営石油会社であったが、国営ガス配給会社 Azerigaz と国営化学会社 Azerkimya を吸収合併し、実質、国営石油・ガス・化学会社となった。発電・変電・送電部門は、国営電力会社 Azerenerji の独占となっている。

(2) 基本政策

- アゼルバイジャンでは 19 世紀中葉より陸上原油を生産しているが、陸上原油は既に生産量が減退している。カスピ海海洋鉦区の原油生産も 2010 年以降減少している。同国政府は生産拡大のため、積極的に外資誘致策を推進中である。
- アゼルバイジャンはエネルギー資源の純輸出国であり、原油および天然ガスの輸出を通じて自国経済の発展を図ることを基本政策に据えている。したがって、原油と天然ガスの輸出先確保と輸送インフラの多様化が重要な課題である。2013 年 10 月に現職の I. Aliyev 大統領が 3 選を果たしており、基本政策に変更はない。
- Aliyev 大統領は 2013 年 10 月 29 日付け大統領令において、アゼルバイジャンの欧州向けガス輸出インフラを統括する国家委員会の新設を命じた。同大統領令によれば、新設される国家委員会の委員長には Yagub Eyubov 第一副首相が任命され、委員は大統領府副長官、財務相、エネルギー相、経済産業相、SOCAR 社長等から構成される。

(3) 最近の動向

- 2015 年 4 月、ノルウェー Statoil は Shah Deniz 海洋ガス鉦区/SCP パイプラインコンソーシアム権益 15.5% をマレーシア Petronas に \$22.5 億で売却した。
- 2015 年 1-7 月期、原油生産量は 24.2 百万 ton と前年比減少したが、ガス生産は 11.4Bcm と増加しており、今後は特にガス開発を中心に行っていくとみられる。
- 2014 年 2 月 25 日付け大統領令により、4 つのガスプロジェクトを管理する国営会社の新設が決定した。4 プロジェクトとは、① Shah Deniz 海洋鉦区第 2 段階プロジェクト、② SCP プロジェクト、③ TANAP プロジェクト、④ TAP プロジェクトである。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- AIOC コンソーシアムに伊藤忠石油開発が 4.3%、Inpex が 11% を出資している。また、Baku-Tbilish-Ceyhan (BTC) 原油パイプライン・運営コンソーシアムに対しても伊藤忠石油開発が 3.4%、Inpex が 2.5% を出資している。
- 2015 年 7 月、アゼルバイジャン、ウクライナ、ジョージア、モルドバの 4 カ国で構成する新欧米組織 GUAM の実務者会合を東京で開催。エネルギー安全保障問題などについて協議し、民間投資促進など経済分野での協力推進で一致した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Azerbaijan

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		14 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.50 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.25 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		410 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		30.8 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		3.23 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	31 %
	天然ガス	31 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	1 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-310 %
(9) 石油の輸入依存度		-853 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA